

辰口温泉 総湯 里山の湯



開湯約1400年の辰口薬師源泉

「行灯のあかりに誘われて、のんびりと温泉を楽しむ」がコンセプト。寢湯のある内湯と庭園風の露天風呂は落ち着いた佇まい。薬師如来のお告げで掘り当てたと伝えられ、約1400年の歴史をもつ辰口薬師源泉を引いているほか、月替り湯も用意。

TEL.0761-51-2183
能美市辰口町又3-1

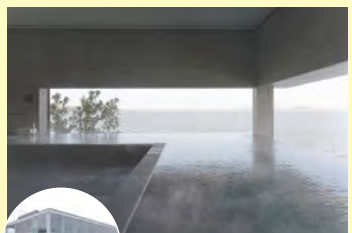
粟津温泉 総湯



気軽に立ち寄れる歴史深い湯

温泉街の中ほどに建つ総湯は重厚感のある平屋建て。浴場は大湯船がひとつのシンプルなつくり。天井まで大きく取られた窓の外には坪庭があります。「美人の湯」と称される温泉は、無色透明でさらりとした肌触りが特徴。

TEL.0761-65-1120
小松市粟津町イ79-1



片山津温泉 総湯

開放感あふれるガラス張りの温泉

ガラス張りの外観が印象的。窓から広がる柴山湯の湖面と浴槽が一体化し、湖に浸かっているような開放感を味わえる「湯の湯」と、森の景色に安らぎを感じられる「森の湯」の2つの浴室は、男女浴で定期的に入れ替え。

TEL.0761-74-0550
加賀市片山津温泉乙65-2

山中温泉 総湯 菊の湯

山中や菊はたおらぬ湯の匂ひ

山中温泉の湯元で、温泉町はここを中心に発展。昔は温泉客も共同浴場を利用していたようで、今でも家の風呂は使わず総湯に通う住民も少なくないのだとか。さらりとした湯を楽しめる共同浴場は男女別棟で、両館をつなぐ広場には足湯も設置。

TEL.0761-78-4026
加賀市山中温泉湯の出町レ1

山代温泉 総湯



快適に利用できる新たな総湯

『旧吉野屋旅館』の跡地に建てられた温泉。板張りの門を活用した建物は、周囲の風景に溶け込む風情ある佇まい。浴場内は九谷焼作家の手描きタイルが彩りを添え、足元は地元産の石張り。

TEL.0761-76-0144
加賀市山代温泉万松園通2-1

山代温泉 古総湯



明治時代の総湯を復元

明治時代の総湯を復元した歴史や文化が楽しめる体験型温泉博物館。窓のステンドグラスやタイルは当時の様子を再現。入浴方法も昔ながらのものを体験できるように、浴室にはシャワーなどの設備がなく、かけ湯をして湯船につかるスタイルです。

TEL.0761-76-0144 加賀市山代温泉18-128

南加賀の天然温泉を巡ろう

天然温泉でありながら共同浴場。それが総湯。まちの中核的な存在です。



はじめまして。

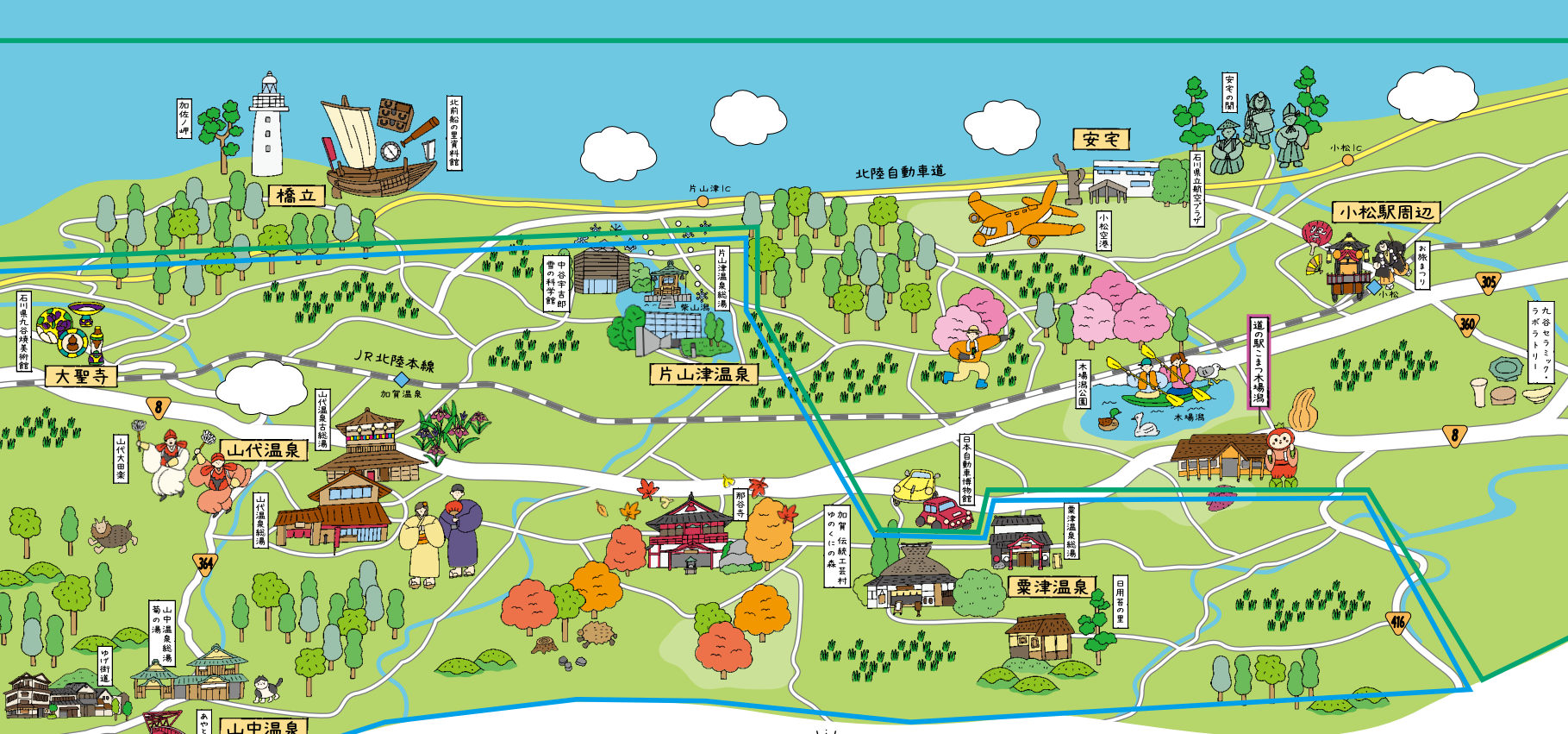


おかえりなさい。



南加賀を
旅する
ふるさと
マガジン

Tabisuru furusato Magazine



加賀温泉郷

個性の豊かな温泉をぐるりとめぐる

昔ながらの温泉文化が感じられる街並みを残す「山代温泉」、松尾芭蕉の句にも詠まれた自然美を堪能できる「山中温泉」、うつくしい柴山湯湖畔にあり湯冷めにくい特徴の「片山津温泉」、奈良時代に開湯し美肌の湯として有名な「粟津温泉」が集結した温泉郷。北陸観光の拠点として愛されるスポット。



賑わいの温泉郷エリア



山代温泉 古総湯



歴史的な交通の拠点エリア (P8~P11)

いにしえから続く往来の要所

江戸から明治時代にかけて北前船の寄港地として繁栄した、古くから人々が行き交う場所。国内4都市と海外3都市をつなぐ旅客便と、海外2都市に国際貨物便が航行する小松空港は、本州で日本海側有数の利用者数を誇ります。小松駅、加賀温泉駅は延伸によって2024年に北陸新幹線停車駅となることから、今後も注目のエリアです。



加賀温泉郷で有名な風情ある場所

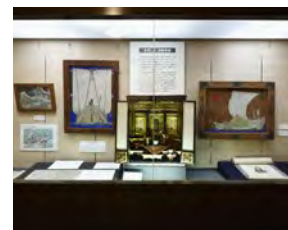
北陸古来の名湯として名高い「山代温泉・山中温泉・片山津温泉・粟津温泉」からなる「加賀温泉郷」のあるエリアは、九谷焼や山中漆器などの伝統的な産地としても知られています。四季が織りなす自然美をはじめ、歴史を感じる大聖寺藩の城下町、昔から続く造り酒屋や献上加賀棒茶を作る製茶場など見どころもいっぱい。加賀温泉駅は金沢駅から車で約30分、小松空港から車で約25分とアクセスもよく隣接しているのもポイント。

写真提供：石川県観光連盟、(一社)加賀市観光交流機構

小松駅

発展を遂げる南加賀の鉄道

小松空港行きのバスが発着し、2024年には北陸新幹線停車駅となる交通の拠点。2023年秋には駅構内に複合商業施設がオープンし、飲食店や特産品を扱うショップのほか、くつろげるフリースペースなども整備されました。



小松空港

北陸を代表する空の玄関口

旅客便が羽田・札幌・福岡・那覇・ソウル・上海・台北へ運航。加えて、世界各地へ飛ぶ国際チャーター便もスタンバイ。バスで金沢駅や小松駅、福井駅と結ばれているので、観光はもちろんビジネスにも利用されています。



北前船の里資料館

北前船の歴史や文化を学ぶ

「北前船」とは、江戸時代から明治時代中頃まで日本海海運で活躍した「北国廻船」の総称。船主が荷主として各港で物売り買いしながら航海した、北前船に関する様々な資料を展示。

TEL 0761-75-1250 加賀市橋立町 イ 乙 1-1

九谷焼

世界を魅了する石川の工芸

江戸時代初期に始まった「古九谷」から再興し、今に続く伝統工芸。九谷五彩と呼ばれる色が特徴で、藍青色で線描きし、赤・黄・緑・紫・紺青を盛り上げて塗ります。青九谷を生み出した吉田屋窯、赤絵金彩で知られる宮本屋窯などが有名。



川北まつり ~手取の火まつり~

盛大な花火と大かがり火の競演

「虫送り」と「送り火」が融合した火の祭りで、勇壮な日本最大級の高さを誇る大かがり火は祭りのシンボル。同時に開催される「北國大花火・川北大会」はたくさんの花火が夜空を彩ります。TEL 076-277-1124 (川北まつり実行委員会) 会場 / 手取川河川敷



手取川で栄える産業と田園エリア (P12~P13)

農業と産業の盛んな手取川流域

石川県内最大河川の手取川を中心とした自然豊かな地域。のどかな田園風景が広がる県内有数の穀倉地帯として農業に力を入れています。治水や発電、都市用水の供給を目的としたダム建設によって、川の水は工業用にも活用されているのが特徴。豊富な水量と交通アクセスのよさから、先端産業の企業立地も盛んです。



北陸先端科学技術大学院大学



Onsenkyo Area

賑わいの温泉郷エリア

愛され続ける温泉があり、温泉旅館があり、育まれた文化もあって——
まち歩きがてら、各地の総湯（共同浴場）へ湯浴みするのもまた一興。

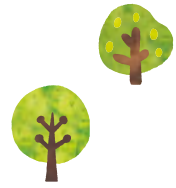


あやとりはし（鶴仙溪）

モダンな橋から絶景を眺めて

山中温泉を流れる大聖寺川の鶴仙溪に架かるスタイリッシュな橋。いけばな草月流家元・勅使河原宏さんが「鶴仙溪を活ける」をテーマにデザインされました。紅紫色のモダンな橋は溪谷の緑によく映えます。橋上からの眺めは最高で、九谷焼の色彩をイメージした幻想的なライトアップが毎夜開催されています。

TEL. 0761-78-0330 (山中温泉観光協会)
加賀市山中温泉河鹿町



Beautiful!

柴山湯

何度も色が変わるうつくしい湖面

片山津温泉のシンボリックな存在で、沖合にある日本有数の巨大噴水は圧巻です。湖に浮かぶ浮御堂は歩いて渡ることができ、夜にはライトアップも。周囲ではサイクリングや釣りなどアウトドアが楽しめ、天気次第では白山も眺望可能。

TEL. 0761-74-1123 (片山津温泉観光協会)
加賀市片山津温泉



山中漆器

全国一の木地ろくろ挽き産地

山中温泉周辺で生産される山中漆器は、「塗りの輪島」「蒔絵の金沢」に並ぶ「木地の山中」と呼ばれ、挽物木地では全国一の生産量。木目模様を生かしながら自然な風合いを表現し、乾燥による歪みが少なく堅牢さと精巧さが特徴。

TEL. 0761-78-0305 (山中漆器連合協同組合)
加賀市山中温泉塚谷町1268-2



白山を望みながら柴山湯に接する環境を取り込む建物は、建築家・磯崎新が設計



まちカフェ

特等席からの絶景にうっとり

『片山津温泉 総湯』の2階に併設されたカフェでは、爽やかな景色を一望できる開放感抜群のテラス席をスタンバイ。目の前に広がる柴山湯を眺めながら特製スイーツやドリンクを味わえば、清々しいひとときを過ごせそう。

TEL. 0761-74-0550
加賀市片山津温泉乙65-2



手軽に楽しめるカップスイーツ

中谷宇吉郎 雪の科学館

雪や氷の不思議な世界をのぞく

加賀市出身の科学者で、世界で初めて人工的に雪の結晶を作り出した中谷宇吉郎博士の功績を展示する博物館。六角塔を3つ配置した建物は雪をイメージしたもの。雪にまつわる実験を通して水と氷の不思議な性質を間近で観察してみてください。

TEL. 0761-75-3323
加賀市潮津町イ106



氷のペンダント作りは、金属は熱をよく伝える性質（熱伝導）があることを応用した科学実験

Let's Go!

ゆげ街道

山中温泉のメインストリート

山中温泉にある商店街で、一帯を再興したと伝えられている鎌倉時代の武士・長谷部信連を祀った「長谷部神社」から『山中温泉 総湯 菊の湯』周辺までの温泉街の街道。カフェや雑貨店などがずらりと並び、山中温泉の伝統が息づく古美術から現代工芸まで幅広いジャンルのギャラリーも。

TEL. 0761-78-0330 (山中温泉観光協会)
加賀市山中温泉ゆげ街道





紅葉のシーズンは、赤や黄色に色づく木々に彩られた岩壁が、見事な景観を生み出します

那谷寺

大自然に囲まれた白山信仰の寺

那谷寺の創建は養老元(717)年。泰澄大師が開いたと伝えられています。その後、何度も大火に見舞われながらも、加賀前田家三代藩主・前田利常によって再興されました。国の名勝に選ばれている「奇岩遊仙境」は、巨大な岩山にいくつもの洞窟が開けられた絶景。紅葉の名所としても知られる寺院です。

TEL. 0761-65-2111
小松市那谷町ユ122



Wonderful!



加賀 伝統工芸村 ゆのくにの森

南加賀を代表する伝統工芸のテーマパーク

広さ13万坪の林の中に移築された江戸～明治時代の古民家が点在。館内では輪島塗の沈金や山中塗の時絵など50種類以上の伝統工芸が体験可能。四季折々の自然が楽しめる散策もおすすめ。人気の撮影スポットもあります。

TEL. 0761-65-3456
小松市栗津温泉ナ3-3



魯山人寓居跡 いろは草庵

芸術家・魯山人の面影を感じて

山代温泉の老舗旅館『吉野屋』から依頼された刻字看板を制作するため、北大路魯山人が滞在した旅館の別荘。看板を彫った仕事部屋や書斎、地元住民と交流した囲炉裏の間などの見学ができます。改装した土蔵には作品も展示。

TEL. 0761-77-7111
加賀市山代温泉18-5

はづちを茶店

山代温泉散策の立ち寄りスポット

お風呂上がりや散策途中にぴったりな山代温泉にある甘味処。冬に人気の草餅ぜんざい(加賀棒茶付き)は、炭火の風味とともによもぎの香りが鼻に抜けて美味。加賀温泉郷に近い地酒を集めたきき酒セットなども提供。

TEL. 0761-77-8270
加賀市山代温泉18-59-1



吉野葛を使った甘辛いみたらし団子もおすすめ

加賀カニごはん・加賀パフェ

加賀市のおもてなしご当地グルメ

加賀カニごはんは北陸新幹線金沢開業を機に誕生した人気メニュー。香箱ガニを1杯使ったカニごはんを中心としたぜいたくな内容で、毎年新作が登場します。続いて開発された地元食材たっぷりの加賀パフェは3時のおやつにぴったり。どちらも器は山中漆器や丸谷焼を使用し、香ばしい献上加賀棒茶付きなのがこだわり。



山代温泉 菖蒲湯まつり

温泉に1年間の感謝をこめて

若衆が菖蒲を俵に詰め込んだ神輿を担いで温泉街をめぐり、最後に古総湯へ菖蒲を投げ入れ、1年の無病息災を祈願する祭り。この時期になると、各温泉旅館でも菖蒲湯が楽しめます。

TEL. 0761-77-1144(山代温泉観光協会)
山代温泉街一円

Kotsu Kyoten Area

歴史的な交通の拠点エリア

北前船で富を築いた船主が多く、交通の要にもなっていたエリア。
航海後は、船乗りたちが加賀温泉郷へ湯治に訪れていたそうですよ。



北前船主屋敷 蔵六園

華やかな時代に思いをはせる

加賀市加賀橋立伝統的建造物群保存地区の中にある、北海道と大阪を結ぶ北前船交易で財を成した大船主・酒谷長一郎の屋敷。藩主専用の間や母屋、土蔵、庭園に至るまで、当時の姿がそのまま残っています。山野草庭園やティールーム、アンティークショップが併設されている国の登録有形文化財です。

TEL. 0761-75-2003
加賀市橋立町47



山野草庭園には500種ほどの四季折々の山野草が自生し、多くの愛好家が訪れています



Cute♡



約10haの小さな池ですが、江戸時代からの水田耕作と伝統鴨猟である坂網猟が残る地域



加賀市鴨池観察館

片野鴨池の水鳥をじっくり観察

日本有数の水鳥越冬地で、ラムサール条約登録湿地に指定されている片野鴨池に隣接。マガンやヒシクイをはじめ、絶滅危惧種のトモエガモなど、冬には数千羽の水鳥が集まります。体験プログラムやワークショップも実施。

TEL. 0761-72-2200 加賀市片野町子2-1



尼御前SA 下り

絶景を眺めながらゆったりと食事

開放感たっぷりのフードコート「アマゴテラス」からは、日本海のパノラマが広がり、尼御前岬を一望できます。海鮮丼やソフトクリームなど、バラエティー豊富なメニューが満載。石川のご当地カレー4種の食べ比べも可能。

TEL. 0761-75-2611
加賀市美岬町尼ゴジ3-2番地外



橋立漁港



南加賀エリア代表する漁港

石川県で加能ガニ(オス)や香箱ガニ(メス)と呼ばれるズワイガニの水揚げで有名。港から漁場が近いので鮮度が落ちず、また砂泥地で育つため特においしいのだそう。また秋から冬にかけて取れる甘エビも絶品。

TEL. 0761-75-1111(石川県漁業協同組合 加賀支所)
加賀市小塩町コ181

Beautiful!



加佐の岬

日本海に沈む夕日の絶景スポット

加賀海岸の最も突出した岬で、その先端からは日本海の大パノラマが広がります。松林の中の整備された遊歩道をぐんぐん進むと白亜の灯台があり、青い海とのコントラストが見事です。遊歩道は海沿いに続いていて散策もおすすめ。近年ではパワースポットとしても注目されています。

TEL. 0761-72-7892(加賀市産業振興部環境課)
加賀市橋立町



※岬先端部分の崩落により遊歩道が一部通行止めとなっています





Wassyoi!



お旅まつり

歌舞伎のまちの初夏を彩る

菟橋神社と本折日吉神社の春季祭礼で、豪華絢爛な曳山と子供歌舞伎が有名。各町の曳山がそろう「曳山八曳揃え」では、ライトアップされて黄金色に輝く曳山が見事です。

TEL. 0761-24-8195 (小松市観光交流課)
小松市中心市街地ほか



安宅関所跡

松林の中にある勤進帳の舞台

源義経と弁慶、関守富樫左衛門泰家の銅像が設置され、歌舞伎「勤進帳」の舞台にもなった安宅の関があったと伝えられる場所。レストハウス「安宅の関こまつ勤進帳の里」や文化施設「勤進帳ものがたり館」も隣接しています。

TEL.0761-21-6734 (うみのえき安宅)
小松市安宅町タ140-4

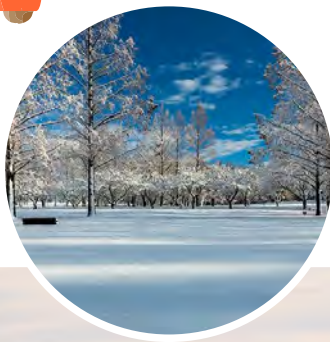


木場湯公園

白山を望む県内唯一の自然水郷公園

木場湯は約5,300年前に海がせき止められて原型ができた海跡湖で、公園は湯の姿を残している県内唯一の自然水郷公園。春には千本桜通りや湯一周の桜回廊など約1,700本の桜が咲き誇る名所です。ウォーキングや散歩を楽しむ人々が多く訪れるほか、カヌーレーシング場もあり、世界大会も開催。

TEL.0761-43-3106 小松市三谷町ら之部58



中央園地・北園地・西園地・南園地と新しくオープンした東園地の5つのエリアで構成。近くには「道の駅こまつ木場湯」もあるので要チェック

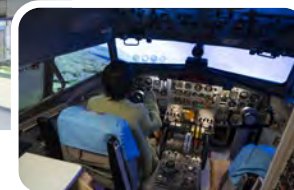


石川県立航空プラザ

体験もできる航空機の博物館

航空機の誕生と歴史や、航空宇宙技術を解説する日本海側唯一の航空資料館。曲技飛行で有名なブルーインパルス機をはじめ、小型飛行機など17機を展示。全日空で使用されていた実物のYS-11シミュレーターで操縦体験も可能。屋内に日本最大級の飛行機型遊具を備えた子供広場も用意。

TEL.0761-23-4811 小松市安宅新町92



サイエンスヒルズこまつ

ひとつものづくり科学館

小松駅に隣接する「こまつ杜」にある「未来を創るひとつの、ものづくり」をテーマにした科学館。ドームスクリーンいっぱいの映像で臨場感あふれる3Dシアターをはじめ、ものづくりの現場で使われる科学技術や、身の回りの不思議な現象の観察や実験を通して、様々な「科学」を身近に体験することができます。ミュージアムショップもあり、体験教室をはじめとするイベントも実施。

TEL.0761-22-8610 小松市こまつ杜2



小松塩焼きそば・小松うどん

小松のご当地グルメ2トップ

もっちりとした太麺と野菜の歯ごたえを引き立たせる塩味が特徴の小松塩焼きそば。ほどよいコシの麺に魚の節と昆布の合わせだしですっきりした味わいの小松うどん。ともにソウルフードとして小松市民に愛されています。



日本自動車博物館

自動車の展示台数日本最大級

「くるばく」の愛称で親しまれる展示台数日本最大級の博物館。20世紀に日本国内で活躍した車を中心に約800台を所有し、常時500台ほどを展示。日本製の古い商用車が多く、日本自動車博物館でしか見ることのできない貴重な車は必見。

TEL.0761-43-4343
小松市ニツ梨町一貫山40



Wow!





Sangyo Denen Area

手取川で栄える産業と田園エリア

一級河川・手取川の豊富な清らかな水を活かした農業や産業が盛んで、酒造りも行われています。親子で遊んで学べるスポットもいっぱい！

いしかわ動物園

人と動物と環境にやさしい

約23haもの広大な敷地に191種2,700頭以上を飼育。動物はできるだけ自然環境に近い形で暮らしているのが特徴。園内中央のビオトープや、年間300頭以上の野生動物の保護、国のトキ復活事業への協力など、保護活動にも積極的です。夏期の週末に開催されているナイトズーには多くの動物好きが訪れます。

TEL.0761-51-8500
能美市徳山町600



Adventure Garden 能美

フィールドアスレチックを体験

中世の山城跡が残る『こくぞう里山公園』の中で、森林の地形や樹木を自然のまま活用したアクティビティを楽しめるフィールドアスレチック施設。子どもでも気軽に楽しめるコースから、スリリングかつダイナミックなコースまでスタンバイ。

TEL. 0761-58-0923 能美市和気町ラ90



手取川で栄える産業と田園エリア

wow!

川北町ふれあい健康センター

図書館併設の日帰り温泉でゆったり

『ふれあいの湯』の愛称で親しまれている町立図書館と併設した日帰り温泉。浴場にはひのき風呂、岩風呂、サウナを設置。泉質はナトリウム・カルシウム塩化物泉で、たっぷりとき出る湯は体が芯から温まりポカポカが長く続くと評判です。

TEL.076-277-1110 能美郡川北町字壱屋100



湯谷の焼万頭

てんぽにうまい！
素朴な味わい

昭和から続く能美市の焼万頭専門店。あんこ嫌いをも魅了するくちどけの良いあんこに、アレルギーのある子どもでも食べられる卵不使用のもちもちな生地が絶妙にマッチ。注文から10分ほど待てば、あつあつの焼きたても味わえます。

TEL.0761-57-1158
能美市寺井町111-1

yummy!



Enjoy!

手取フィッシュランド

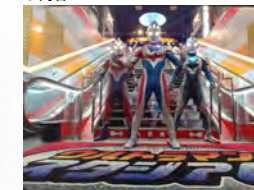
石川県内唯一の老舗遊園地

石川県内唯一の本格的な遊園地を中心とする総合レジャーランド。大観覧車やメリーゴーランド、ゴカートなど20種類以上のアトラクションに加えて、釣り堀コーナーも設置。屋内にはゲームセンターやペットショップ、国内有数のキャラクターパークであるウルトラマンスタジアムを備え、天候に左右されず思い思いの楽しみ方ができます。

TEL.0761-57-2211 能美市粟生町ツ58



©円谷プロ



ウルトラマン
スタジアム



北國大花火・川北大会

北陸最大級の打ち上げ花火

川北町の一大イベント「川北まつり〜手取の火まつり〜」の晩に開かれる北陸最大級の花火大会。たくさんの花火が夜空を鮮やかに彩ります。フィナーレを飾る連続打ち上げの花火は圧巻で、多くの人々が訪れる夏の風物詩です。

TEL. 076-277-1124(川北まつり実行委員会)
能美郡川北町字壱屋174



松井秀喜ベースボールミュージアム

野球への熱い思いを感じる特別な空間

「ゴジラ」の愛称で親しまれ、日本球界を代表するホームランバッターとして活躍した松井秀喜氏。彼の野球への熱い思いと、野球を通して夢を追い続けた軌跡をたどることができる記念館です。館内には数々の愛用品やトロフィーなどを展示。

TEL.0761-22-2447
能美市山口町タ58





九谷焼 Kutaniyaki



豪快かつ渋い色使いで独特の魅力の古九谷をはじめ、細い線で描かれる赤絵彩描、金彩を用いて描く軸裏金彩など、そのデザインは多種多様。日本の伝統工芸品でもある「九谷焼」は、南加賀が産地なんです！

写真提供：石川県観光連盟、(一社)加賀市観光交流機構

石川県九谷焼美術館



日本で唯一の九谷焼専門美術館

古九谷をはじめ、再興九谷、近現代九谷などを網羅しながら、専門的に紹介する日本で唯一の九谷焼専門美術館。江戸時代前期の色絵磁器「古九谷」をはじめ、およそ360年の歴史を刻む数々の名品を展示。2階には「茶房古九谷」があり、お茶を楽しめます。

TEL.0761-72-7466 加賀市大聖寺地方町11-10-13

九谷焼窯跡展示館



九谷焼のルーツをひもとく遺跡

江戸時代前期に作られた古九谷のような色絵磁器を復活させようと、大聖寺の豪商豊田伝右衛門が江戸時代後期に築いた吉田屋窯(国指定史跡)の跡を発掘された状態のまま公開。1940年に作られた、九谷焼として現存最古の登り窯もあり。

TEL.0761-77-0020 加賀市山代温泉19-101-9

CERABO KUTANI 九谷セラミックラボラトリー



見学と体験を通して九谷焼を知る

製土工場とギャラリー、体験工房などを備えた複合的な施設。九谷焼に欠かせない磁器土を、70年以上にわたって陶石から作り続けている工場は、現在も稼働中。体験工房では、ろくろや手びねりの成形体験、絵付け体験などができます。

TEL.0761-48-4235 小松市若杉町ア91

九谷陶芸村



九谷焼のあらゆる情報が集結する村

石川県を代表する伝統工芸のひとつである九谷焼を「見る・知る・作る・買う」ことができる場所。村内にあるKAM能美市九谷焼美術館の|五彩館|では、九谷焼の歴史や名品を展示しています。|浅蔵五十吉記念館|と|体験館|も立地。

TEL.0761-58-6102(九谷焼団地協同組合) 能美市泉台町南22

九谷茶碗まつり



作家ものからお買得品まで勢揃い

能美九谷の礎を築いた陶祖・斎田道開と名工・九谷庄三を偲んで開いた慰霊祭がはじまり。毎年ゴールデンウィークの5月3～5日に開催され、約50社の九谷焼卸商社が出店。九谷陶芸村会場、和田山会場、根上会場などで分散開催されています。

TEL.0761-58-6656(石川県陶磁器商工業協同組合) 能美市泉台町南13

上出長右衛門窯



伝統と斬新な発想を楽しむ老舗窯元

1879年に創業した九谷焼の窯元。伝統的な九谷焼だけでなく、柔軟な発想で作られた現代的な作品など、幅広い作風が特徴です。工房を開放する「窯まつり」では、職人の手仕事を見ることができ、工場見学や、様々な入門体験などを実施。

TEL.0761-57-3344 能美市吉光町ホ65